

こうとう民報

2014年11月号 121

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

解散・総選挙

公示:12月2日
投票:12月14日



消費税増税「先送り」ではなく、中止に!

江東革新懇は、11月15日JR亀戸駅北口にて「消費税増税反対宣伝行動」を行い、17名が参加しました。江東革新懇には、区内の労組、民主団体、政党としては日本共産党が参加しています。

解散を目前に控えた15日、JR亀戸駅頭で江東革新懇の加盟団体や個人が「消費税増税反対宣伝行動」に取り組みました。

「庶民や中小企業いじめの増税に反対しましょう」「応能負担の原則に照らした税制改革を！」と交代でマイクをにぎる訴えが続きます。

吉田としお日本共産党江東地区委員長は、安倍首相が、消費税増税を1年半「先送り」し景気がどうであるかと、景気条項を削除し消費税10%への増税をやると公言していることを糾弾。

4月の増税で景気は一層悪化し、「アベノミクス」で景気回復どころか日本経

済が、大変な危機に陥っていると批判しました。

総選挙では「3党合意」で増税をすすめた自民・公明、民主に厳しい審判を下し、消費税増税先延ばしではなく、きっぱり中止させよう。安倍政権の暴走にストップをかけようと呼びかけました。

怒りの区民集会

主催 江東大運動実行委員会

安倍内閣の暴走にストップ!



集会後、消費税NO! 集団的自衛権行使容認許すな! 憲法改悪反対! 雇用破壊許さない!などを訴えながら亀戸文京公園までデモ行進しました。

「第6回なんでも相談会」短時間で21件の相談
11月9日、区民要求実現江東大運動実行委員会が「第6回江東なんでも相談会」を砂町文化センター内会議室及び北砂公園で行いました。

相談会では区内の民主団体、労働組合、医療機関、弁護士などが相談に応じ、16団体30名が参加。法律相談や労働相談など21件の相談が寄せられました。

議 論

学校は生徒たちの学習の場であると同時に生活の場であり、災害時には住民の避難場所となるなど、子どもたちを中心に地域の核ともいえる施設です。

区議団は小・中全学校の耐震化をいち早く実施させ、また雨漏りなど学校施設の老朽化には改築を含め適切に対応するように繰り返し求めています。

学校トイレを洋式に

9月に行われた決算委員会では、学校のトイレの洋式化の促進を取り上げました。

学校建設費の格差は見直しを

今、家庭では洋便器が当たり前で、和式トイレの使い方を知らない児童が多くなります。

そのため、「少ない洋便器の間にトイレができて、休み時間にトイレが間に合わない」「我慢してしまう」などの声を強めます。

が寄せられていました。また、学校を利用する住民からも「高齢化なので、避難所になる学校のトイレは洋式に」と要望があります。

学校建設費2倍 豪華すぎる

学校の老朽化への対策が求められている一方で、開発がすすむ南部・臨海部地域での学校建設の豪華さが目立ちます。

来年4月開校の豊洲西小学校では既成市街地での学校建築予算の2倍近い費用をかけて温水プールとトレーニングルームをつくり、地域開放されることになっています。また、建設が予定される有明第2小・中学校でも、木の

使用などを条件にプロポーザルで建設事業者を募集、120億円というやはり大変な予算をつぎ込む計画です。

学校の建設は当然やらなければならぬ区の仕事ですが、一方で雨漏りやトイレ改修などの要望がありながら「予算」を理由に対応が遅れている状況があります。

地域によっては豪華な学校施設を作るといふやり方は改めるべきと、区議団は計画の見直しを求めています。

増税と社会保障解体、集団的自衛権行使容認、原発再稼働、辺野古への米軍基地建設など、「亡国の政治」の具体化がすすむにつれて、国民との矛盾が深刻化し、ついに破局を回避するための党略的解散に追い込まれたのです。12月14日までの短期決戦です。アメリカや大企業いなり悪政に、国民的審判を下して、とどめを刺すために、今度こそ建設的対案を示して正面から対決している日本共産党を伸ばし、「第三の躍進」を本格的流れに……。

朝 騒

16日の沖縄県知事選では、保革の枠を超えて団結した県民が圧勝し、日本の明るい未来にとつても記念すべき日となりました。固き土を破りて民族の怒りに燃える島、沖縄は、今後100年も居座る米軍基地建設を阻止し、軍事基地に依存しない地域経済の健全な発展をすすめる道を選択しました。1月の党大会の時点では、来年4月のいつせい地方選が「国政に重大な異変が起こらない限り、私たちが直面する最も早い全国政治戦」と位置づけ、戦後最悪と言われる安倍政権の暴走ストップを目標にしてみました。国会で多数を占め、高い支持率に驕っていた政権が、「政治的には決して盤石ではなく、この内閣の基盤は極めてもろく、深刻な矛盾をはらんでいる」(党大会決定)との指摘が、早くも現実となりました。

「市町村制と江東」

概説

江東の歴史 (40)



朱引内と朱引外

1868(明治元)年8月、東京府がおかれました。その範囲は、江戸町奉行が治めた「朱引内」と外側の「朱引外」の百数十カ村です。江東の朱引内は深川の大部分と大島川の北と大横川の西、朱引外は牡丹、洲崎、猿江、扇橋、石島および城東地区でした。

明治2年に、朱引内を人口1万人ほどを単位に50区にわけ、朱引外も6区に分けます。

1874(明治7)年、大区小区制では朱引内外を11大区と103小区にわけ、朱引内の深川は第6大区の1～5小区、朱引外の深川と城東は第11大区の2と3小区に属しました。

1878(明治11)年には大区小区が廃止され、15区と9郡をおきました。江東は深川区と南葛飾郡(城東)となります。深川区役所は清澄におかれ、初代区長に大木良房が任命されました。区役所は1882(明治15)年霊岸町(白河)の浄心寺境内に移り、南葛飾郡の役所は小松川村にありました。

1888(明治21)年、市町村制が公布され、翌年5月、深川区は東京市深川区となります。初代の深川区議会議長は浅沢栄一で、1904年まで務めました。

市町村制施行の直前、元老院は重要な都市に自治体として自治権を与えることに不安を持ち、東京、京都、大阪を特例として政府が任命した府知事が市長の権限をもつことにしました。南葛飾郡には亀戸、大島、砂村の三村ができ、村長が初めて選出されました。亀戸と大島に町制がひかれたのは1900(明治33)年、砂村が砂町になったのは1921(大正10)年です。深川区役所は、1892(明治25)年に煉瓦建ての新庁舎が白河1丁目に完成。

東京市に自治権を与えられなかったことに対し東京市会は毎年、「特別市制度廃止法案」を衆議院に提出し、1898(明治31)年6月に実現、9月30日に特例は失効しました。10月1日「都民の日」は、東京市が一般市制に変わり自治権を持った最初の日を記念して定められたものです。

第26回高齢者集会～若者に未来を 高齢者に安心と生きがいを～

宇都宮健児氏講演

日本国憲法はなぜ世界の宝か!

講演をする宇都宮健児氏



東京土建江東支部・婦人部のレクダンス、江東相撲甚句会の朗詠でオープニングの後、宇都宮健児氏が「日本国憲法はなぜ世界の宝か!」と題した講演を行いました。



相撲甚句

宇都宮氏は、「貧困の広がりや戦争が結びついて、経済的徴兵制につながっていく」「立憲主義が脅かされ、国際

平和なくして福祉なし」の旗を掲げて25年!第26回江東区高齢者集会在11月16日、江東総合区民センターで開催されました。

「旗を掲げて25年!第26回江東区高齢者集会在11月16日、江東総合区民センターで開催されました。」

「けんこう井戸端会議」の4分科会での学習と交流で、元気にうたごえ交流会」の4分科会での学習と交流で、元気を養う高齢者集会となりました。

午後には、引き続き宇都宮健児さんの「けんぼう座談会」と「医療介護はどう変わるか」「けんこう井戸端会議」の4分科会での学習と交流で、元気を養う高齢者集会となりました。

青年学習講座「東京五輪を考えた」



10月25日、江東区日本共産党青年後援会・日本民主青年同盟江東地域協議会共催の青年学習講座「東京五輪を考えた」が開かれました。

オリンピック計画の現状について話をするあざ上三和子都議と赤羽目たみお区議

あざ上三和子都議は「戸田市にある既存のポート競技の施設を使うことができ、戸田市もぜひにと名乗り出ている」と、近隣県までを含めた既存施設の活用を検討するなど、具体的な代替案などをあげました。

あざ上三和子都議は「現在の計画を見直し無駄な費用を抑え、開発整備するにしても、オリンピック後に、都営住宅や高齢者向けの施設など都民のためになるようにしたい」と話しました。

臨海部の開発に3千億円の税金を投入しており、フジテレビ前など企業周辺のイルミネーションに2億8千万円の補助金をだし、臨海部への企業誘致に5億円かけているとのことでした。



富岡八幡宮で行われた酉の市

行事日程
○12月4日(木) 13時
「被災ヒアリングコンサート」
「被災資料センター」・江東健康友の会
12月9日(火) 7時半
「憲法9条守れ」の日
宣伝 区内各駅頭
○12月11日(木) 14時
「歌声喫茶ともしび」
カメラアプラザ大研修室



第41回 赤旗まつり
多くの方のご参加
ありがとうございました!
赤旗まつり江東実行委員会

いのち、くらしを守る政治に!

民も声をあげていかなければいけないと思いました。